

千葉会長挨拶一要旨

昨年の青森大鰐総会から一年ぶりのご無沙汰です。栃木県スキー連盟、全日本スキー連盟、また宮本顧問を迎えて第28回総会が開催でき、ありがとうございました。

思えば第24回福井総会で会長に推挙され、何をなすべきかを考えました。まず第一に弱体化した本部機構の立て直しを図ることでした。大変だった会費納入の事務処理を少ない年月で整理し、皆様へ会員名簿提供出来たことを、担当した丸山事務局長・遠藤常任理事に賛辞を贈りたい。第二に全日本スキー連盟の組織における公認スキー・パトロール連絡協議会の位置付けあります。パト連協はS A Jの外部団体として認知されており、また昨年11月の全国安対委員長会議に招かれ、S A J高橋安対委員長がパト連協について発言され、参加された全国の安対委員長も改めて認識していただけた事と思います。

今年の検定会でのパト連協の加入率は85%で100%を目指して頑張りたいと思います。S A J高橋安対委員長、専門委員、技術員からの一言をよろしくお願ひします。また3月の宮城県オニコウベで開催した、第14回パト技術競技大会では従来から協賛をして参りましたが、S A Jよりゼッケン更新にあたりパト連協より寄贈願いたい旨の申し入れがあり、昨年の総会で皆様の承認を得て寄付しております。参加した全選手がそのゼッケンを胸につけ、室内では手際よく雪上では力強く参加されておりました。

各県支部結成ですが、20年ほど前からの懸案事項であり徐々に進んでおりますが、同時に県支部結成では越えなければならないハンドルが有る事も事実です。東北では、今年各県支部が集まり北・南合同ブロック会議を開催することが出来ました。目標に向かって一つづつ進んで行きます。

パトロールニュースについて、新会員が入会後初めてこの会を認識するのは会報が届いた時だと思います。原稿収集、編集作業には担当者に感謝しており、最近の会報の充実ぶりには自負するものがあります。

最後に、会員のメリットはとよく聞かれます。全国に千数百名の同士がいると言うのはすばらしいことだと思います。石川県ドクターパトの藤田さんの会報から引用させていただきますと「同じ趣味を通じての仲間との一体感は言葉では言い表せないような感動を感じました」と書かれていました。これこそがパト連協のメリットではないでしょうか。

第28回総会を開催するにあたり、関係各位のご協力に感謝し挨拶と致します。

全国パト連協総会 日光湯元で開催

役選で千葉会長再選
来年の総会は徳島県で

公認スキー・パトロール連絡協議会第二十八回総会が平成十一年九月四日栃木県日光湯元で開催されました。

久永副会長の司会で始まり、総会出席者数及び委任状数が報告になり、千葉会長挨拶（別記）が

連盟福田副会長より「全国各地から沢山の皆様にお集まりいただき地元として歓迎致します。奥日光の自然の素晴らしさを堪能していただきたいと

催おめでとうございます」と祝辞をいただき、続いて全日日本スキー連盟高

橋賢一安全対策委員長か

ら祝辞（別記）をいただき、その他來賓の紹介及び祝電の披露がありました。議長には、地元から星伸也氏（三十二期）を選出し議事に入りました。

平成十一年度事業報告を丸山事務局長より、決算報告を遠藤常任理事より

及ぶ監査報告を中村監事より報告し、満場の拍手で承認されました。続い

て平成十二年度事業計画（案）並びに予算（案）を上田理事長及び遠藤常任理事から提案され、質問をして「総会を年一回夏に開催されていますが、スキーを履いての行事（交流会）を行ってみては」と、答弁として「以前から雪の上でなんらかの集まりがあればと言う意見

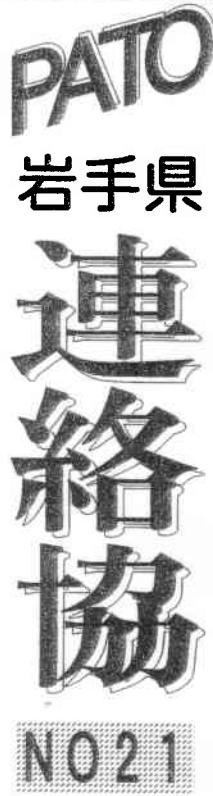
協議事項は以上で終了し、宮本顧問から「三月のオニコウベでのパト技術競技大会では、パト連協から協賛金を頂きこの

大会に協賛して頂けるとござります」と挨拶されました。また、パト技術競技大会次期開催地の群馬県草津から片倉S A J専門委員が出席されました。また、パト技術競技大会次期開催地の群馬県のドクターパト相澤氏より開催しても良い旨の発言があり、次期開催地は四国徳島県に決定しました。

この度は公認スキー・パトロール連絡協議会が日光湯元で開催されることを心からお祝い申し上げます。日頃全日本スキー連盟安全対策委員会の事業に対して、ご声援ご協力頂きお礼を申し上げます。おかげさまで3月にオニコウベで行われたパト技術競技大会も成功する事が出来ました。また、五十嵐担当理事からも皆様にくれぐれも宜しくと言ずかって参りました。

パブル崩壊以降の日本経済は低迷しており、スキー業界も同様でスキー場なども経営不安です。S A Jはスノースポーツの活性化に向け頑張っております。まず出来るところからやったうと、昨シーズンからスキー技術を大きな3本柱に分け、セーフティ・コワホート・チャレンジ、これを基にスキー技術を構築して行きます。スノースポーツも時代と共に変化してきています。ニーズが変わるとスノースポーツのもつ奥行き深さ豊かさは変わりありません。当然安全と言ふことは大切であります。これから21世紀に向けスノースポーツへの豊かさを体験出来るように願っております。

本日は第28回総会にお招きいただき、ありがとうございました。



公パト研修会に参加を！

《2000年度S A J日程》

- ◎県連主催のパト研修会 1999年11月27日~28日(八幡平スキー場)
- ◎指導員研修会 1999年12月17日~19日(零石スキー場)
- ◎準指理論講習会 1999年11月23日 (都南文化会館)
- ◎準指実技講習会前期 2000年1月15日~16日(網張スキー場)
- ◎準指実技講習会後期 2000年2月11日~13日(網張スキー場)
- ◎準指検定会 2000年3月4日~6日(網張スキー場)
- ◆パトロール検定70ヶ講習会 2000年1月23日~25日(福島・あだたら)
- ◆パトロール検定会 2000年3月6日~8日(福島・あだたら)
- ◆パトロール研修会 2000年3月17日~19日(青森・鰐ヶ沢)
- ◆パトロール競技会 2000年3月25日~26日(群馬・草津国際)
- ◆指導員検定会 2000年2月25日~27日(岩手・網張)

パト技術競技大会に参加を！

会費の納入は、郵便振替で番号は《02360-0-34396》手数料はかかりません。